

令和4年（2022年）8月教育委員会定例会会議録

日 時 令和4年（2022年）8月30日（木） 午後1時30分～午後2時18分

会 場 柏崎市役所4階4-4会議室

出席者	教育長	近藤喜祐
	委員（教育長職務代理者）	米谷杉子
	委員	阿部健志
	委員	三嶋崇史
	委員	梅田広美

説明のため出席した職員

教育部長	宮崎靖彦
教育総務課長	田辺文敏
学校教育課長 兼 教育センター所長	池田弘
文化・生涯学習課長	藤巻久之
スポーツ振興課長 兼 水球のまち推進室長	関矢隆志
図書館長	平田晃
博物館係長	小網敏明

説明及び職務のため出席した事務局職員

教育総務課課長代理	伊比孝
-----------	-----

議 題

- 1 会議録署名委員の指名
- 2 教育長専決処理報告
 - (1) 令和4（2022）年度一般会計補正予算（第10号）について
- 3 審議事項
 - (1) 令和3（2021）年度柏崎市教育委員会点検・評価報告書について
- 4 報告事項
 - (1) 第57回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展について
 - (2) 働く世代の健康づくりを応援する「かしわぎき健康サポートカンパニー」がスタートしました！
 - (3) 水球ユース世界選手権に日本代表として産附高2年の山田果林選手が出場しました
 - (4) 水球競技の新潟県代表が国体に出場します
 - (5) 水球シンガポール代表合宿及び国際親善試合の開催について
 - (6) 子ども一日図書館員の実施報告について

- (7) 「綾子舞」現地公開について
- (8) 共催・後援の事業について
- 5 その他
 - (1) 9月定例会の日程について
 - (2) その他

＜ 午後1時30分 開会 ＞

第1 会議録署名委員の指名

(近藤教育長)

会議録署名委員に、米谷委員、梅田委員を指名する。

第2 教育長専決処理報告

(近藤教育長)

教育長専決処理報告に入る。

- (1) 令和4(2022)年度一般会計補正予算(第10号)についてを議題とする。

(教育総務課長)

歳入の学校施設環境改善交付金1千160万4千円の減及び学校教育施設等整備事業債540万円の増は、今年度、柏崎小学校の屋上防水と外壁改修工事を計画した。その財源を確保するため、県と調整しながら国へ交付金の申請をしたが、国から別の事業でなければ採択できないとの連絡を受けた。理由は、予防改修事業で申請したが、柏崎小学校は、建築後50年以上経過していることから、大規模改修となる長寿命化事業でないと対象にならないとのことであった。柏崎小学校は、平成12年から14年にかけて大改修を行っていたことから、県とも協議したが、期間がクリアされ予防改修事業の対象となると判断し申請した。しかし、国からトータルの年数で判断するとのことであった。このため、歳入を減額するものである。

また、歳入増については、国の交付金が受けられなくなったが、柏崎小学校の状況から工事は必要であると判断し、市費を投入するとともに、市債を充てることとしたものである。

続いて、歳出の職員人件費については、他課も同様であるが、職員の人事異動により増額又は減額するものである。当初予算は、例年11月頃に次年度を見込んで作成する。その後、4月に正式に人事異動が決まることになるが、今回の9月議会で調整するものである。

また、共済費の増額については、他課も同様であるが、非常勤職員の医療保険の保険料率が10月から改定されることから、事業主負担分を措置するものである。

(図書館長)

図書館施設管理費については、空調中央監視盤内のインバーターを修繕するために増額要求するものである。

(博物館係長)

報酬増額については、最低賃金の引上げに伴い、埋蔵文化財整整理補助職員の報酬額を増額するものである。対象事業は、柏崎市内遺跡発掘調査事業が1万3千円、埋蔵文化財調査費が7万6千円、県道関連遺跡調査事業が1万9千円である。

博物館整備事業については、博物館の屋上に設置している消火設備の補助水槽が老朽化によ

り破損したため、設備改修工事を行うものである。補助水槽は、施設内の消火栓や地下の消火水槽までの配管内を常に水を満たしておくための設備である。これにより、火災時にはすぐに放水ができる仕組みになっている。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(阿部委員)

国の交付金が不採択になることはあるのか。

(教育総務課長)

補助金の内容が変わったことの情報が遅くなると、対象とならないことがある。滅多にないことではあるが、無いことはない。

(近藤教育長)

他になければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第3 審議事項

(近藤教育長)

審議事項に入る。

(1) 令和3(2021)年度柏崎市教育委員会点検・評価報告書についてを議題とする。

(教育総務課長)

6月の教育委員会で確認いただき、その後、事務評価委員の評価を受けた結果である。S、A、Bの評価数は変更がない。9月15日の市議会文教厚生常任委員協議会で報告する。

(米谷委員)

評価委員の評価の中で、「文化会館アルフォーレや産業文化会館の利用者が減少傾向にある。」と評価されているが、個別の評価を見ると昨年よりは減っていない。全体的に減少傾向にあるということか。

(文化・生涯学習課長)

コロナが始まる前よりは減っている状況である。令和3年度は復活の兆しがあり、増加傾向にある。

(米谷委員)

コロナは特別な状況であると考えますが、コロナが流行る前は、減少傾向にあったか。

(文化・生涯学習課長)

確認し、報告する。

(三嶋委員)

図書館サービス事業について、学校図書支援員5人が小学校20校を年何回巡回しているか。また、中学校も巡回しているか。

(図書館長)

支援員の巡回回数は、交替で月に2から3回巡回している。中学校の必要性は感じている。今年、中学校の声を聞きながら、現員5人の中で支援できる内容を検討していきたい。

(阿部委員)

全国や世界に通用する競技者を育てる項目の中で、新たな競技スポーツの競技人口とあるが、

村上市では、スケートボードの立派な施設がある。水球も期待できるところだが、スケートボードやボルダリングなど、先んじて取り組み、柏崎が脚光を浴びるような考えはあるか。

(スポーツ振興課長)

スケートボードの愛好者は何人かおり、プレーをする場所が欲しいとの要望はある。しかし、その要望が競技なのかレジャーなのか判断ができない。佐藤ヶ池の第4駐車場を開放しているが、利用が伸びていない現状である。市の施策として取り組む方法もあるが、現実として現存の施設が老朽化しており、安全に使うことが精一杯である。

(阿部委員)

評価は3段階である理由はあるか。細分化することで、課題が見えたり、励みになるのではないか。また、公表以外の内部評価として、細分化したらいかがか。

(教育総務課長)

第五次総合計画など市の主要施策も評価を行っている。評価は3段階であるところもあるが、細かく評価するためには評価段階を細かくする必要もある。来年度、公表は3段階でも、内部は細かくすることを検証し、来年度に活かせるものは活かしたい。

(近藤教育長)

他になければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第4 報告事項

(近藤教育長)

報告事項に入る。

※教育長及び各課(館)長が資料に沿って説明

- (1) 第57回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展について
- (2) 働く世代の健康づくりを応援する「かしわざき健康サポートカンパニー」がスタートしました!
- (3) 水球ユース世界選手権に日本代表として産附高2年の山田果林選手が出場しました
- (4) 水球競技の新潟県代表が国体に出場します
- (5) 水球シンガポール代表合宿及び国際親善試合の開催について
- (6) 子ども一日図書館員の実施報告について
- (7) 「綾子舞」現地公開について
- (8) 共催・後援の事業について

(近藤教育長)

以上で報告事項を終わる。

第5 その他

- (1) 9月定例会の日程について 9月27日(木)午後1時30分開会
- (2) その他

以上、相違ないことを確認する。

令和4年（2022年）9月27日

教育長 近藤喜祐

委員 米谷杉子

委員 梅田広美